

【別紙 1】 NEC 名古屋データセンターの仕様

立地	愛知県名古屋市内 活断層から約 10km、海岸線から約 9km
規模	最大 500 ラック
建物構造	建屋 : 免震構造 床荷重 (スラブ) : 最大 1.5t/m ²
電気設備	受電 : 異なる変電所からの二系統受電 自家発電機 : 冗長構成、満床時 72 時間無給油連続運転可能 無停電電源装置 (UPS) : 冗長構成 ラック供給電力 (定格電力) : 平均 8kVA、最大 20kVA
空調設備	空調機 : 冗長構成 PUE(Power Usage Effectiveness)値 : 1.3 台 (設計値)
セキュリティ	設備 : FISC※安全対策基準 (設備基準) 準拠 金属探知ゲート、ウォークスルー顔認証、IC カード認証、 電気錠ラック、監視カメラ、赤外線センサー、外周フェンス 運用 : 24 時間 365 日有人監視
通信キャリア	キャリアフリー
火災対策	超高感度煙検知器、窒素ガス消火設備
付帯施設	プロジェクトルーム、媒体保管室、一時保管室、レンタルロッカー

※FISC (The Center for Financial Industry Information Systems) : 公益財団法人金融情報システムセンター

【別紙 2】 NEC 神戸データセンター一期棟、二期棟共通の特長

1. 柔軟で効率的なハイブリッドクラウド対応

- ・クラウドとハウジング環境間の LAN(レイヤー2 接続)での高速接続や他社クラウドとの閉域網接続などにより、柔軟なハイブリッド環境を構築可能
- ・クラウド、ハウジング、オンプレミス含め、様々な環境の一元的な運用管理を実現
- ・ NEC データセンター間ネットワークを介したデータセンター間での DR 環境構築や、クラウドやオンプレミス等に配備された本番環境のバックアップ環境としての利用が可能

2. ファシリティやセキュリティ強化により「安全・安心」を追求

- ・ 建物は、兵庫県神戸市の堅牢な地盤上にあり、耐震性に優れた免震構造を採用
- ・ 非常時の給油ルートも確保しやすい立地と 72 時間無給油運転可能な電源設備により、地震、水害、停電、ネットワーク障害などへの優れた耐災害性と安定稼働を実現
- ・ セキュリティ対策では、世界 No.1 の認証精度を有する顔認証技術を用いて、カメラを意識することなくスムーズに入退場が可能な顔認証システムを採用し入室にかかる時間を約 50%短縮
- ・ 外周部分に対しては監視カメラと行動検知システムを組み合わせることにより、従来の赤外線センサーだけでは困難であった、人物による不審な挙動を自動検知し、事故（インシデント）発生を未然に防止

3. 徹底的な効率化によりコストパフォーマンスを追求

- ・ 総合的な省エネルギー化により PUE は西日本トップクラスの 1.18(設計値)を実現
- ・ クラウドサーバールームには、気化熱の原理を応用した NEC の冷却技術「相変化冷却ユニット」を壁一面に適用、他の空調方式の改善と合わせて冷却効率を最大 40%向上
- ・ 外気を利用したフリークーリング、太陽光発電、蓄電システム、地下冷気活用など自然エネルギーも積極的に活用

【別紙 3】 NEC 神戸データセンターの仕様

立地・交通	<p>活断層から 7km 以上、海岸から 9km 以上、海拔約 100m</p> <p>洪水・土砂災害・液状化：自治体ハザードマップの被害想定区域外</p> <p>地盤：非常に固い（N 値※60 以上）</p> <p>交通：大阪駅から約 1 時間</p>
建物構造	<p>建屋：地上 7 階建て、免震構造</p> <p>床荷重（スラブ）：標準 1.2t/m²（最大 2.2t/m²エリア有）</p>
電気設備	<p>受電：特別高圧電力、2ヶ所の変電所からの二系統受電</p> <p>自家発電機：冗長構成、満床時 72 時間無給油連続運転可能</p> <p>UPS：冗長構成（一部 N+2）、電力供給時間 10 分</p> <p>UPS：冗長構成（一部 N+2）、電力供給時間 10 分</p> <p>ラック供給電力（定格電力）：平均 8kVA、最大 12kVA （高負荷フロアは平均 16kVA）</p> <p>その他補助電源：館内設備用に太陽光発電を併用</p>
空調設備	<p>熱源・空調機器、配管：冗長構成（一部 N+2）、相変化冷却ユニット、 地下冷気活用、フリークーリング、20℃冷水空調システム※</p> <p>PUE(Power Usage Effectiveness)値：1.18（設計値）</p>
セキュリティ	<p>設備：金属探知ゲート、ウォークスルー顔認証、IC カード認証、電気錠、 監視カメラ、行動検知システム、赤外線センサー、光ファイバーセンサー、 外周フェンス</p> <p>運用：24 時間 365 日有人監視、 有人警備＋金属探知機（入館管理、持ち込み持ち出し品検査）、 共連れ防止、アンチパスバック、セキュリティゾーン管理、証跡保管</p>
通信キャリア	キャリアフリー
火災対策	超高感度煙検知器、窒素ガス消火設備

公的認証等	プライバシーマーク、ISO/IEC27001(情報セキュリティマネジメントシステム)、 ISO22301(事業継続マネジメントシステム)、FISC※安全対策基準(設備基準) に準拠、SOC1/Type2, SOC2/Type2 レポート※(内部統制保証報告書)、 PCI DSS※に準拠
付帯施設(隣接)	プロジェクトルーム、リフレッシュコーナー、駐車場

※N 値：標準貫入試験(JIS A 1219)によって求められる地盤の強度等を示す数値。50 以上は極めて固いとされる

※20℃冷水空調システムは二期棟に導入

※FISC(The Center for Financial Industry Information Systems)：公益財団法人金融情報システムセンター

※SOC1,SOC2(Service Organization Control 1,2)レポート：米国公認会計士協会(AICPA)が定める受託業務の内部統制保証報告書(二期棟は2020年に取得予定)

※PCI DSS(Payment Card Industry Data Security Standard)：クレジットカード業界のセキュリティ基準。12ある準拠要件のうち、要件9の認定取得